

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	サニーキャンパス平島		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		2024年 12月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44名	(回答者数) 29名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		2024年 12月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性の高い有資格者の配置をしているため、特性に合わせた支援ができる。	アセスメントをもとに、特性や発達に合わせて専門的支援計画を作成し、特性に合わせたカリキュラムの作成や楽しみながら行える課題の提供をしている。	隣接する他事業所との連携を図り、個々の特性や発達段階の情報を共有することで広い視野をもって支援していく。
2	外出や季節に応じた伝統行事、クッキング、発達に合わせた工作を取り入れるなど楽しい行事を企画・運営している。	1年を通して決まったイベントを行うことで集団における児童の成長も感じられ、今まで出来なかったことが出来るようになっていくことを称賛し、自信に繋げるようにしている。月ごとに様々な経験ができる。	児童が過ごしやすい環境設定をし、楽しみながら様々な経験を積んでいくことで、社会性を身に付け、実践していけるよう企画・運営を今後も続けていく。
3	室内には卓球台やバランスボード等が出来る、雨の日でも身体を動かせるスペースがある。室外では事業所所有の公園(ボール遊び可)を持っている。	身体を動かすことが好きな児童も多く、雨の日でも室内(卓球等)を開放している。外ではボール遊びのニーズが高く、職員が間に入りながら、安心安全を担保し、ルールを守って異年齢の児童とも関わりながら楽しめるよう工夫している。	室内遊びや外遊び等、児童の「楽しい」に応えられるよう必要な道具を今後も揃えていき、色々な活動を提供していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	聴覚面での過敏な児童に対する環境(音を遮断するための個別の仕切りや個室)を完備できていないので、静養室などを解放している。	構造上の問題。	聴覚過敏に対し、必要に応じてご家庭でイヤーマフをご準備頂く、あるいはできる限りの安全対策を行い、安心して過ごせるよう取り組む。
2			
3			